

令和4年度 国語科 「古典B」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年A～G組
教科書	高等学校古典B改訂版古文編・漢文編（三省堂）	副教材等	新修古典文法（京都書房）、Look@古文単語337（京都書房）、精選漢文（尚文出版）、プレミアムカラー国語便覧（数研出版）

1 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって、人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
4	筆者の感性を理解する 登場人物の考え方や話の面白さを味わう	【古文】随筆一『枕草子』 「中納言参り給ひて」「雪のいと高う降りたる」 【漢文】小話「漱石沈流」 「糟糠之妻」 「王昭君」 「不顧後患」	・筆者の感性を理解し、助動詞や副詞の呼応に注意して文意を捉え、敬語の用い方を完成する。 ・比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。	・授業に能動的に取り組む姿勢を示し、その内容を自己の内部で消化した上で発問に対して答えようとしている。（行動の観察） ・登場人物の関係・人柄について理解し、それぞれの言動の意図などについて考えようとしている。（行動の観察）
5	歌物語の面白さと和歌に込められた心情を読み取る	【古文】物語『伊勢物語』 「初冠」	・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞をする。	・古文作品の精華である「歌物語」について鑑賞する姿勢を持つ。（行動の観察）
6	日本の近代文学と読み比べる	【漢文】小説「人虎伝」	・話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、中島敦の「山月記」と読み比べる。	・話のおもしろさを味わい、登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。（記述の確認）
7	筆者の人生観・無常観を理解する	【古文】随筆（二）『徒然草』 「あだし野の露消ゆる時なく」 『方丈記』 「はく河の流	・筆者の人生観や無常観などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。	・内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めている。（記述の確認）
8				
9	中国の正史の範とされる文章を味わう	【漢文】史伝・『史記』 「鴻門之会」 「四面楚歌」	・話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を味わう。	・話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。（行動の分析）

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	歴史物語の特徴を理解する	【古文】歴史物語 ・『大鏡』 「花山院の出家」	・歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。	・登場人物の人間関係や心情を境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解している。（記述の確認）
11	文章の構成や展開を確かめる	【漢文】文章 「春夜宴桃李園序」 「送薛存義之任序」	・文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取る。	・文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとしている。（行動の観察）
12	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取る	【古文】物語（2） ・『源氏物語』 「光源氏の誕生」 「北山の垣間見」	・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、登場人物の人間関係を正確に把握し、敬語表現を復習する。	・日本の古典文学の白眉でもある『源氏物語』に対して関心を持ち、作品を取り巻く時代の背景や作品の後世への影響について理解している。（記述の確認）
1	日記文学について考える	【古文】日記 ・『更級日記』 「あこがれ」 「源氏の五十余巻」	・作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解する。	・作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。（行動の観察）
2	語り物の特徴を理解する	【古文】軍記 ・『平家物語』 「能登殿の最期」	・軍記物語特有の語彙、語法、文体を理解しながら、その優れた情景描写や武人たちの人物造形を読み、味わう。	・音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めている。（行動の分析）
2	中国の思想について考える	【漢文】思想 ・『荀子』「人之性悪」 ・『老子』「小国寡民」 ・『莊子』「渾沌」	・諸子百家の概略を理解する。中国古代思想の多様性や独創性に触れ、人間や社会の在り方について考える。 ・句法を確認しながら、話の展開を読み取る。	・人間や社会の在り方についての考えを深めている。 ・句法を理解しながら、話の展開を的確に読み取っている。（行動の観察）
3	韻文の特徴に触れる	【漢文】日本の漢詩文 ・「送夏目漱石之伊予」 ・「題自画」 ・「航西日記」	・歌や句の内容を捉え、そこに詠まれた心情を読み取る。	・それぞれの作品が表現している内容や情感を読み取り、日本における漢詩文の歴史を理解している。（行動の観察）

3 評価の観点

関心・意欲・態度	古文・漢文を学ぶことにより、自己表現能力を高めると共に、古典的教養を深める。
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	漢文や古文を読むことにより、日本人の文化的蓄積と歴史の深さを感じ取る。
知識・理解	国文学の歴史を理解し、いかにして自国の文学が成立したか、正しく理解する。

4 評価の方法

「関心、意欲、態度」、「読む能力」、「知識、理解」の観点から評価規準に従い、小テストや定期考査の結果、提出物の在り方、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

基礎的知識を定着させるため、やるべきことはしっかりこなすというのは言うまでもありませんが、それ以上に、授業に入る以前に必要な予習を行い、自分なりの課題を持ち、主体的に授業へ参加できるようにしておいてください。教えてもらうのではなく、学ぶという姿勢を持ってください。
--